



平成 28 年 3 月 4 日

各 位

会 社 名 日 本 工 営 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 有 元 龍 一
(コード：1954 東証第一部)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション室長 金 田 肇
(TEL： 03-5276-2454)

アジア水ビジネス投資パートナーシップ(Tigris Water Partnership)参加のお知らせ

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有元龍一）は、シンガポールに拠点を置くファンド運営会社である Odyssey Capital 社およびインフラ投資分野で実績を持つ Macquarie Capital 社が組成するアジア諸国向け水ビジネス投資パートナーシップ(Tigris Water Partnership)へ参加し、15.0 百万ドル（約 18 億円）の出資をいたします。

Tigris Water Partnership（以下、本パートナーシップ）は中国、インド、アジア諸国の上下水（工業用水、排水処理）、海水淡水化の分野で、現在主に EPC を主業務としている水事業会社を投資対象とし、これらの企業を EPC 業者から水事業運営企業へ発展させることを目的としております。本パートナーシップの GP (General Partner) にはいずれもインフラ投資部門での実績豊富なマッコーリーキャピタル社およびオデッセイキャピタル社が就いており、各投資先企業へその運営状況に応じて、技術面でのサポートはもちろん、経営をサポートする人材や取締役の派遣等を行い、ガバナンス、戦略策定、キャパシティ増強、リストラクチャリングといった多方面からのサポートで、投資先企業の成長、収益を確実なものとしします。

当社は、15.0 百万ドル（約 18 億円）の出資をいたします（本パートナーシップ全体では最終的には 300 百万ドルの出資）。また、当社は本パートナーシップへのアドバイザーリーコミッティーに参加し、個々の事業会社への技術アドバイザー業務の獲得を目指します。これらは、当社が長年培ってきた上下水道分野でのさらなる受注機会促進につながるだけでなく、アジア圏新興諸国における水事業に関する PPP/民間主導型業務の情報を獲得することにもつながり、当社が継続的に取り組んでおります Non-ODA/民間市場でのビジネス拡大が期待されます。

当社は 2018 年 6 月期までの中期経営計画期間において、「事業投資による市場開拓と新たな顧客の創出」を新事業の一つと位置づけており、本中期経営計画期間内にエネルギー事業投資および国内外における水力発電事業へ、約 115 億円の投資を予定しております。今後も当社がこれまで培ってきた技術サービスおよびモノづくりの実績と知見が活きる分野への投資を積極的に進め、高収益型ビジネスモデルを確立してまいります。

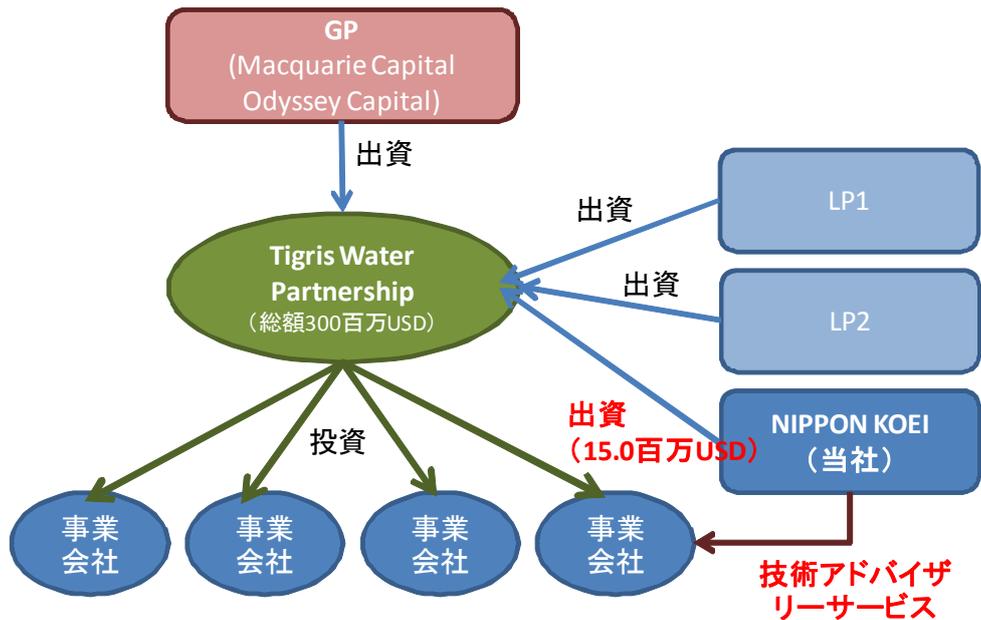
—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室
TEL : 03-5276-2454 Email : info@n-koei.co.jp ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>

■本パートナーシップの概要

投資対象国	中国、インド、ベトナム、タイ、インドネシア、パキスタン、バングラデシュ
投資対象分野	(1) 工業用水、工業廃水事業、(2) 公営上下水道事業、(3) 下水処理事業、 (4) バイオガス事業 (5) 海水淡水化事業
投資総額	300 百万ドル
投資期間	4 年間 (GP からの Capital Call に従い、逐次出資)
GP	マッコーリーキャピタル、オデッセイキャピタル
LP	Eastspring FMO 等

■当社の位置づけ



以上

—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室
 TEL : 03-5276-2454 Email : info@n-koei.co.jp ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>